

1. Course Description

患者の症状や所見の理解ができるように内科領域の診断学及び代表的疾患について学びます。

2. Course Objectives

各徴候の定義、徴候と密接に関係する疾患名を言えるようにしましょう。

過去10年間の柔道整復師国家試験問題のうち一般臨床医学領域を正解できるようにしましょう。

3. Grading Policy

科目の評価は定期試験(70%)および小テスト(30%)により行います。

小テストは講義日の午後8時から次回講義の前日午後10時まで(すなわち約1週間)に回答された得点のうちの最高点を

採用します。期限内であれば何回でも回答可能ですから満点を取るまで繰り返し受験してください。

4. Textbook and Reference

Textbook

全国柔道整復学校協会監修、奈良信夫・吉澤靖之・椎名晋一著 一般臨床医学(改訂第3版) 医歯薬出版

5. Requirements(Assignments)

解剖学および生理学の理解が本科目習得の前提になります。関連する既習事項の知識を事前に確認しておいてください。

予習: 講義の範囲の教科書を用いて0.5時間程度の予習を行ってください。

復習: 小テストを解いてください。満点をとれるまでがんばりましょう。

6. Note

講義中の写真撮影および録音は禁止します。

7. Schedule

- [1] 2 診察各論
A 医療面接
B 視診
視診の意義と方法
体格・体型
体位・姿勢
栄養状態
教科書範囲:p6~p12
- [2] B 視診
精神状態
異常運動
歩行
教科書範囲:p12~p18
- [3] B 視診
皮膚の状態
頭部・顔面
頸部
胸部
教科書範囲:p18~p26
- [4] B 視診
腹部
背部
腰部
四肢
教科書範囲:p27~p36
- [5] C 打診
D 聴診
教科書範囲:p36~p42
- [6] E 触診
教科書範囲:p42~p52
- [7] F 生命徴候
教科書範囲:p52~p60
- [8] G 感覚検査
教科書範囲:p60~p65
- [9] H 反射検査
教科書範囲:p66~p75
- [10] I 代表的な臨床症状
発熱
出血傾向
リンパ節腫脹
教科書範囲:p75~p81

- [11] I 代表的な臨床症状
意識障害
チアノーゼ
関節痛
浮腫
教科書範囲:p81~p89
- [12] I 代表的な臨床症状
肥満
やせ
3 検査法
A 生命徴候の測定
B 生理検査機能
C 検体検査
D 運動機能検査
教科書範囲:p89~p97
- [13] 4 主要な疾患
A 呼吸器疾患
総論
各論(かぜ症候群、インフルエンザ、急性気管支炎、慢性気管支炎、肺炎、肺結核、covid-19)
教科書範囲:p99~p105
- [14] A 呼吸器疾患
各論(気管支喘息、COPD、肺癌、肺血栓塞栓症、気胸)
教科書範囲:p105~p114
- [15] B 循環器疾患
総論
各疾患(うつ血性心不全、虚血性心疾患、心臓弁膜症、先天性心疾患)
教科書範囲:p115~p122